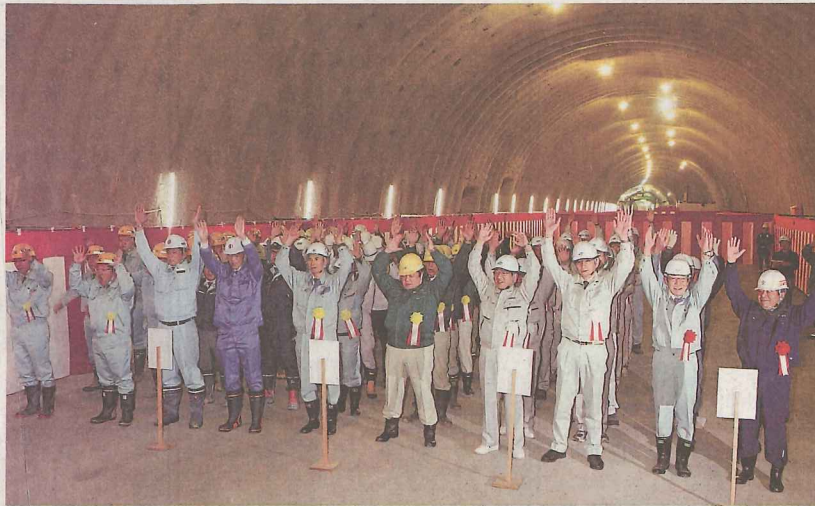


道東道
道本別—釧路

最後のトンネル貫通

おみこし、鏡開きで祝う

道東道(本別—釧路 音別町をつなぐ白音トンネル)の白糠町と釧路市



9(び)の貫通式が9日、同トンネル内で行われた。整備が進められて

いる同区間にはトンネルが17カ所あり、貫通は白音トンネルが最後。工事関係者のほか、釧路市の蝦名大也市長や白糠町の棚野孝夫町長らも参加、無事故での貫通を祝った。

白音トンネルは、宮坂建設工業(帯広市)と松谷建設(北見市)の共同企業体(JV)が施工。工事の請負金額は約20億円で、2012年9月に工事を開始し、今年2月からトンネルの掘削を進めて貫通発破の後、万歳で祝う工事関係者ら

きた。

式では釧路開建釧路道路事務所の高橋丞二所長が発破を行い、トンネルが貫通。おみこしが入場し、鏡開きが行われるなど祝賀ムードに包まれた。

寿文社長は「安全に十分している。高速道路が分配慮しながら、通常なら使わない200トンクレーンを使うなど工事の高速化を図ってきた」と振り返り、蝦名市長は「釧路への高速道路の延伸が目の前に迫ってきていると実感定。」(柳沢郷介)

道東道は浦幌—白糠間が14年度、白糠—阿寒間が15年度の開通予定。

白音トンネル貫通

北海道横断自動車道

本別―
釧路間
17本全て掘削完了

予定工期を2カ月短縮

道開発局釧路開発建設部が
工事を進める北海道横断自動車道(本別―釧路間、延長65
キロ)で、最後のトンネルとなる
白糠町茶路の白音トンネル
(同713・9メートル)の貫通式
が9日、現場坑内で行われた。
蝦名大也釧路市長や棚野孝夫
白糠町長も来賓として駆け付
け、関係者100人余りが待
望の貫通を祝った。来年度の
白糠インターチェンジ(IC)
開通まで工事も残すところわ
ずかとなり、道央圏との物流、
観光の本格化は目前に迫つて
いる。

(花城護)

白糠町茶路と釧路市音別
町の境界をまたぐ同トンネ
ルは、2012年9月から
事共同企業体(JV)が施



施工業者の代表と共に酒だるを抜く蝦名市長(右から2人目)、棚野町長(同3人目)

工している。トンネル入り
口ののり面工事の後、掘削
工事はダイナマイトを使つ
た発破掘削工法で行われ、
今年2月から来年1月まで
の予定工期を工法の効率化
などで2カ月間短縮し、年
内の貫通にこぎ着けた。
貫通式では、出席者の前
で釧路開建の高橋丞二釧路
道路事務所長が発破のスイ
ッチを押すと、ダイナマイ
トの音が鳴り響きトンネル
が貫通、全員で万歳を三唱
した。施工者を代表し、宮
坂寿文宮坂建設社長が「無
事故無災害で予定よりも早
く貫通した。冬季には氷点
下20度、標高1500メートルと厳
しい環境だが、十分注意し

残りの工事も無災害で進めて
ほしい」とあいさつした。
続いて来賓の蝦名市長は
「釧路へ向け最後のトンネ
ル開通という歴史の瞬間に
立ち会え、感謝している。
各地がつながることで、北
海道の潜在能力が発揮でき
る」と述べ、棚野町長は「さ
らなる地域活性化につなげ
ていきたい。物流、観光の
本格化を目前に、地域を挙
げたPRが今後の課題」と
話していた。

本別―釧路間にある17本
のトンネルはこれで全て掘
削が完了。今後白音トンネ
ルは、道路の舗装や防水シ
ートの取り付けなどが行わ
れる。現在阿寒IC(仮称)
まで橋梁全24本の橋桁が架

かつており、付帯工事を進
め白糠ICは14年度、阿寒
ICは15年度に開通を予定
している。

白音トンネルが貫通

道横断道 工事の区切り祝う

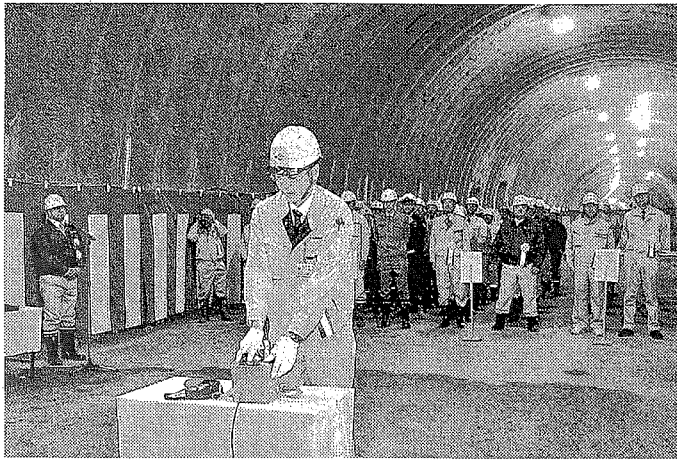
【釧路】道横断自動車道白糠町白音トンネルを施工する宮坂建設工業・松谷建設共同体は9日、現地で貫通式を行い、発注者や工事関係者ら合わせ約100人が無事の貫通を祝った。

同トンネルは延長713・9㍍、有効幅員11・4㍍、車道幅員7㍍、内空断面71平方㍍。NATM工法で2013年2月に着工した。低土被り区間では、小口径のバイ

ルーフと注入式フォアパイルングで地山の安定を図るAGF工法を採用。道横断道本別―釧路間の山岳地帯に新設するトンネル17カ所で最後の貫通となった。

式典では、来賓の蝦名大也釧路市長や棚野孝夫白糠町長らが見守る中、釧路開建の高橋丞三釧路道路事務所長が最終発破のスイッチを押し、岡本雅之現

場所長が貫通を確認。参加者全員で万歳三唱した。貫通地点では、石田悦一釧路開建部長と宮坂寿文宮坂建設工業社長ら受発注者が握手。樽みこしが坑内を練り歩き、鏡開きなどで貫通を祝った。あいさつで宮坂社長は



最終発破のスイッチを押す高橋釧路道路事務所長

「着工から無事故無災害で作業を進め、無事貫通を迎えた。今後の仕上

げは安全第一で施工したい」と決意を新たに

2013.12.11 北海道通信

白音トンネル 待望の貫通

宮坂・松谷JVが式典挙行

横断道釧路延伸へ大きな一歩



【釧路発】宮坂建設工業(株)・宮坂建設工業(株)・松谷建設(株)（北見、松谷豊一社長）特定JVは9日、白糠町と釧路市音別町の境界で建設を進めていた道横断道白音トンネルの貫通式を挙行了した。写真。発破スイッチを押して貫通が確認されると会場は大きな歓声に包まれ、参加者は工事の大きな節目を祝った。

白糠町と釧路市音別町の境界に位置する白音トンネルは、延長七百十三・九㍍。同JVでは二十四年九月七日から二十六年十月三十一日までの工期で施工を進めている。

式では、はじめに発注者を代

表して釧路開建釧路道路事務所の高橋丞三所長が発破スイッチを押下。作業員が貫通を確認すると、会場は大きな歓声に包まれた。その後、神事等を行って待望の貫通を喜び合った。祝賀会場に移動し、宮坂建設工業の宮坂社長があいさつ。「無事故・無災害で施工してきたところだが、今後いよいよ仕上げに入っていく。何をしても安全第一で施工したい。より一層安全対策、交通安全に注意しながら施工することを誓う。無事故・無災害で竣工を迎えたい」と述べた。また、来賓を代表して釧路市の蝦名大也市長が祝辞。「釧路に向けて最後のトンネルが貫通し、道横断道の開通が迫っていることを実感できた。歴史的な瞬間にこの場にいることに感謝する」と喜びを語った。このあと、宮坂社長、松谷社長、蝦名市長、棚野孝夫白糠町長が鏡割りを行い、参加者は工事の一区切りを祝った。

道東道 最後のトンネル貫通

17カ所目 白糠―音別結ぶ

【白糠、釧路】道東道(本別―釧路間)の釧路管内白糠町と釧路市音別町をつなぐ白音トンネル(全長713・9㍎)の貫通式が、同トンネル内で行われた。

整備が進められている同区間にはトンネルが17カ所あり、貫通は白音トンネルが最後。工事関係者のほか、釧路市の蝦名大也市長や

白糠町の棚野孝夫町長らも出席し、無事故で貫通を祝った。

白音トンネルは、宮坂建設工業(帯広市)と松谷建設(北見市)の共同企業体(JV)が施工し、請負金額は約20億円。2012年9月に着工し、今年2月からトンネルの掘削を進めてきた。

9日の式では、釧路開建釧路道路事務所の高橋丞二所長が発破を行い、トンネルが貫通。みこしが入場して、鏡開きが行われるなど、祝賀ムードに包まれた。

宮坂建設工業の宮坂寿文社長は「安全に十分配慮しながら、通常なら使わない200㍎クレーンを使うなど工事の高速化を図ってきた」と振り返った。

蝦名市長は「釧路への高速道路の延伸が目の前に迫ってきている。高速と実感している。高速道路がつながれば北海道の強み、潜在能力を引き出すことができる」と祝辞を述べた。

道東道は浦幌―白糠間が14年度、白糠―阿寒間が15年度の開通予定。

(柳沢郷介)

貫通発破の後、万歳で祝う工事関係者ら

